

2020年（令和2年）9月21日

関係者各位

中京大学学長 安村仁志

メールアドレス等の流出について

このたび本学学生支援課より、学生に対し連絡文書をメールで一斉送信する際、同報者にメールアドレスが表示される形で一斉に送ってしまったことが判明いたしました。対象の皆様には多大なご迷惑をおかけしました。深くお詫び申し上げます。

記

1. 流出した個人情報

学生7名分の12メールアドレス（うち学外ドメイン5アドレス）と氏名

2. 発生経過と対応

2020年6月30日（火）16時33分ごろ、学生支援課より、学生宛に連絡文書をメールで一斉送信しました。同日19時30分ごろ、メールアドレスが表示される形で送信してしまったことが課内での確認でわかり、流出が判明しました。同日20時26分ごろ、対象学生7名全員に対し、お詫びとメールの削除をお願いしました。

本来であれば「Bcc:」に記入して送信すべきところを、誤ってすべての宛先を「To:」に記入して送信してしまったこと、宛先が「Bcc:」に入っていることを確認する作業を怠ったことが原因です。

3. 具体的な再発防止策について

メールの一斉送信の際には複数名の行政職員による確認を行うと共に、メールの送信取り消し時間の延長ならびにメール誤送信防止ツールの導入を進めております。また、今後も個人情報保護につき一層の徹底に取り組んでまいります。

以上